

②

科目名		C A D 製図 II			
担当教員	多田 剛史	実務授業の有無	○		
対象学科	ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	①各課題をCAD製図することで、CAD操作の習得と製図の仕方を学ぶ ②簡単な形状の設計ができるようになる				
学習目標 (到達目標)	CAD操作が自由にできるようになる。簡単な設計ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	J I Sにもとづく標準製図法 大西清著 理工学社 その他、補助プリントにて必要な文献・資料・問題を配付する。				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	CADの応用(2D図面) ①CADの操作 ②図面のCAD化	方法：課題説明→課題の作成→課題提出			
2	3Dプリンターの活用 ①3D-CADで設計し、3Dプリンターで形状確認	方法：課題説明→課題の作成→課題提出			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
提出課題評価や学習態度等総合的に評価する。 図面等課題提出80%、出席・授業態度等20%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		CAD操作が完璧に使えるようになってください。			
実務経験教員の経歴	機械設計・製品開発者として、職場に17年間関わっていた				

②

科目名		C A D 製図 II			
担当教員	多田 剛史	実務授業の有無	○		
対象学科	ものづくりデザイン科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	C A D を使った作図練習及び操作習得 簡単な形状の設計ができるようになる				
学習目標 (到達目標)	JW-CAD操作だけでなく、3D-CADもあわせて操作できるようになる。				
テキスト・教材・ 参考図書・その他 資料	J I S にもとづく標準製図法 大西清薯 理工学社				
NO.	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	C A D の応用 ( 2 D 図面 ) ① C A D の操作 ② 図面の C A D 化	方法：課題説明→課題の作成→課題提出			
2	簡単な設計 ①課題に対し、自分で設計、図面化	方法：課題説明→課題の作成→課題提出			
3	3Dプリンターの活用 ①3D-CADで設計し、3Dプリンターで形状確認	方法：課題説明→課題の作成→課題提出			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
提出課題評価や学習態度等総合的に評価する。 図面等課題提出80%、出席・授業態度等20%  成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		C A D 操作が完璧に使えるようになってください。			
実務経験教員の経歴	機械設計・製品開発者として、職場に17年間関わっていた				